

狭小スペース、障害物などに対応する「放水試験作業」

水噴霧ヘッドの周辺の障害物に影響されことなく、
放水試験作業を可能にする2つの方式。

水噴霧ヘッドの設置ピッチや障害物などにより、
水噴霧バケット(集水装置)が使用できない状況でも、
放水試験作業を可能にしました。



水噴霧点検車によって放水試験を行う場合、水噴霧ヘッドのピッチ間隔やトンネル内のさまざまな障害物によって、水噴霧バケットを使用できない区画が存在しています。この問題を解決するために開発したのが、カムロック方式ならびに町野式金具方式です。新しい手法と技術で、水噴霧ヘッドの位置や設置状況にかかわらず、安全かつ効率的に放水試験作業を行うことができます。

カムロック方式

水噴霧バケットが使用できない水噴霧ヘッドに対して、ヘッドを取り外し、専用の試験用ホースを配管とヘッドの間に取り付けて、ヘッドを水噴霧点検車の集水タンクまで移動させて放水試験を実施します。



町野式金具方式

水噴霧ヘッドの遠投ノズル、近投ノズルの先に町野式金具を取付け、継手付のホースを装着。水が出る位置を水噴霧点検車の集水タンクまで移動させて放水試験を実施します。



首都高施設メンテナンス株式会社

施設
maintenance